

令和4年度

# いの町教育研究所しおり



令和4年4月

いの町教育研究所

## はじめに

いの町教育研究所長 鍋島 智



新型コロナウイルス下で迎えた3度目の春。本年度も引き続き感染症への対応をしながらの学校運営が求められ、教職員、保護者の皆様のご心配やご苦労は大変なものであると思います。子どもたちの安全管理への様々な配慮を引き続き行いながら新年度がスタートできましたことに心より感謝いたします。

昨年度はいの町が目指す教育の姿「豊かな対話を通して、学び続ける子どもの育成」に向け、各学校が公開授業を通して菊池学園の実践を町内の先生方に発信することができました。

新学習指導要領の趣旨である学力の定着とそれを培うための「対話的で深い学び」のある授業を実践すること、そして未来を切り拓き、新しい時代をたくましく生き抜いていく力を子どもたちに育てていくことは、我々教師の責務です。

また、デジタル化の進展で非対面が増えていますが、人への気遣いや、表情を読み取るコミュニケーションの重要性が再認識されていることなども踏まえ、子ども同士の関係や子どもと教師の関係づくりがすべての基盤にあることを忘れず、温かい学級づくりなど菊池学園の考えにそった実践が先生方一人一人に浸透するよう研究所としてお手伝いをしたいと考えています。

いの町教育研究所は、菊池学園事業等について先生方と共同してその目的を達成する研修が支援できるよう機動性とスピード感をもって取り組んでまいります。今年度も一層のご理解・ご協力をいただけますようお願いいたします。





## ご挨拶

いの町長 池田 牧子



新しい年度が始まりました。ここ2年間は、学校生活や町行政も幾度となく訪れる新型コロナウイルス感染症拡大の波への対応に追われてきました。現在も第6波の収束が見通せてはいない状況であります。一日でも早い収束と平穏な日常を取り戻せることを願うとともに、引き続き感染予防対策と地域経済活動活性化の両立に向けしっかりと対応していきます。

教職員の皆様方には、日頃から本町の児童生徒の健全育成と学力向上のために格段のご尽力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

近年の地方自治体を取り巻く情勢は大変厳しく、過疎化・少子高齢化・情報化社会の急速な進展等、課題も複雑多様化し、家庭の教育力、地域の教育力の低下などが指摘されています。さらに、コロナ禍で社会の仕組みが大きく変わる過渡期ではないかと考えています。

本町は、平成28年度より地方創生事業の一環として「教育・子育て」を柱に据えて、教育特使として菊池省三先生を迎え、「ほめ言葉のシャワーの町」をめざして、子どもたち一人一人の自尊感情を育てる取組を進めてきました。令和2年度からは「ぷっくりハート育成推進事業」として、自尊感情やコミュニケーション能力を高め、行きたい学校、帰りたい家庭、住みたいまちづくりを目指しています。

子どもたちは、先生方の努力や実践により、心豊かに、たくましく、健やかに育ってまいりました。しかし、社会の仕組みが大きく変わろうとしているなか、どんなことを知っているか、何ができるのかだけでなく、それらをどのように活用していくか、人と協働して成し遂げる力が求められています。

このような人材を育成していくために、引き続き菊池省三先生を教育特使として、「ほめて、認めて、励ます」教育に町を上げて推進しているところです。この取組を実践していただくことで、児童生徒がより心豊かに、たくましく育ち、自分自身を好きだと感じ、自分を大切に思える気持ちが育っていくことを信じております。

今後も引き続き、子育て支援の充実や教育環境の整備・改善に努めますので、皆様方には、健康に留意され、本町の教育充実と振興のため、更なるご努力をご期待申し上げ挨拶といたします。

# あいさつ

いの町教育長 藤岡孝雄



日頃から皆様には、いの町の教育振興のために、それぞれのお立場から、ご尽力賜っておりますことに、心から敬意と感謝をいたします。教育委員会が今年度も、特に力を入れて取り組んでいること、あるいは今年度新たな観点で取り組みたいことをお伝えします。

## 第3次いの町教育振興基本計画策定

いの町教育委員会は、本年3月に、第3次いの町教育振興基本計画を策定いたしました。

いの町では、この教育振興基本計画を町長が定める「教育大綱」に見なすものとして、総合教育会議の場において決定しております。「人や文化を育み、心豊かな町づくり」を、いの町が目指す人間像や教育理念として掲げ、学校教育、生涯学習、スポーツ振興のそれぞれの重点を明示した教育大綱は、他に誇ることでできる内容であると自負をしております。

## 未来を担う「ひと」を育てましょう

この大綱に掲げる、「ひとづくり」は社会の原点であり、教育の原点です。どのような社会においても「ひと」なくして未来はないと考えています。そういう意味では、私は「郷土に対する誇りをもち、未来を担う「ひと」づくりを推進していく考えです。

## いの町教育行政の基本は 子ども発・子ども着 町民発・町民着

現在教育を取り巻く環境は、いじめや不登校などの他、厳しい財政状況など課題は山積していますが、本町教育行政の基本を、子どもの視点、町民の視点から発想する「子ども発・子ども着」「町民発・町民着」であると常に意識し、町長部局と共に課題解決に向け取り組んでまいります。

### 第3次いの町教育振興基本計画 基本目標

1	自尊感情が高く心豊かな人間性の育成と個性の伸長を図り、主体的・能動的に他者と協働し、社会を生き抜く力を養成する
2	安心と信頼のある保育・教育環境を整備する
3	学校を地域とともに創ることにより、活力のあるコミュニティを形成する
4	生涯にわたって、子どもも大人もともに学び続けられる生涯学習社会を実現する

第3次いの町教育振興基本計画  
～ほめ言葉のシャワーのまちを目指して～

令和4年2月  
いの町教育委員会

## 教育に真剣に向き合しましょう

令和元年度末から、学校現場は新型コロナウイルス感染症対策に追われてきました。感染症対策と教育活動の両立は、難しい面が多くあったことは確かです。

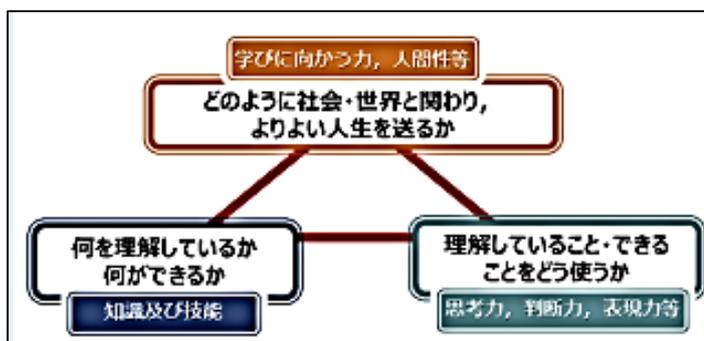
その一方で、あらためて「学校教育とは何か」「教師が本当に大切にすべきことは何か」について真剣に向き合い、一から考え直すきっかけともなりました。厳しい状況の中で、制約や課題をできない言い訳にするのではなく、どうすればできるのか知恵を絞り、工夫を重ねて制約を乗り越えていきましょう。

## 学力の3要素、大人も必要

現代の子どもたちは正解のない時代を生きる、だからこそ教育を変える必要があると言われてきました。

新学習指導要領では、学力の3要素が次のように整理されています。

- (1) 知識・技能
- (2) 思考力・判断力・表現力
- (3) 主体性・多様性・協働性



(「指導と評価の一体化」のための学習業界に関する参考資料) 文部科学省 国立教育政策研究教育課程研究センター

私たち大人にも

- 正しく知ること
- 自分で考えて決めること
- 誰かを責めるのではなく、相手を思いやること
- 知恵を出し合い、助け合い、前向きな姿を子ども達に見せることが求められています。

予測不可能な未来社会を多様な子ども達が自立的に生きぬき、新たな社会形成に創造的に参画するための資質・能力を育む環境作りに取り組まなければなりません。

今こそ言葉だけで終わらせることなく、いの町の目指す教育の姿がその起点となるよう、自ら考え、明確な意志と、目的に基づく動きをしまりましょう。

## 小学校教科担任制、始まる

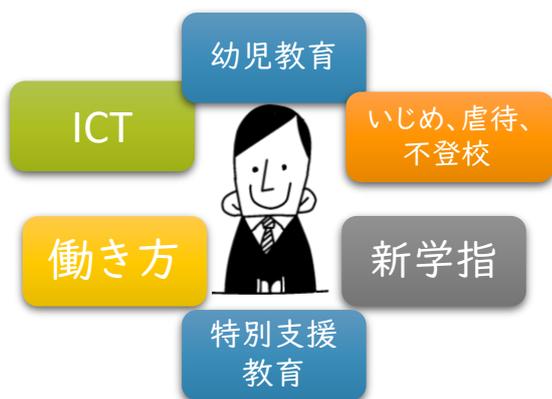
高知県内の小中学校においては、チーム学校の更なる推進を図るため、1学級35人以下とする少人数学級を中学校全学年に拡充し、小中学校すべての学年で35人以下の学級編成の計画的な整備が進められています。さらに、令和4年度から本格導入する小学校高学年で専門性の高い教科指導を行う「高知県型小学校教科担任制」がスタートしました。

先生方の専門性の向上及び児童を複数の目で見ることによる、生徒指導上の成果も期待されているところです。小中が今まで以上に連携をし、ぜひとも成功につなげていただきたいと思います。

## 教育課題に取り組みましょう

また、今年度は、学校のICT環境の活用実態も踏まえて、教育研究所と3人のICT支援員が、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の実現を目指す先生方をサポートします。

また、学校における働き方改革、幼児教育の推進、新学習指導要領の着実な実施、いじめ、不登校、虐待等への予防と迅速な対応、特別支援教育の更なる充実等にも、全力で取り組んでまいります。本年も引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 保育・幼児教育を担う先生方へ 子どもたちの安心、安全を一番に

園長先生方に申しあげます。乳幼児期は、生涯にわたる「生きる力」の基礎が養われる大変重要な時期でございます。そのため、子どもたちの発達特性に応じた教育・保育の推進を第一に、基本的な生活習慣の定着、豊かな感性と表現力の育成、人権意識と道徳性の基礎を育む取組が進められていると認識しております。

子どもたちが日常生活を安全に、安心して、過ごすことができることが大切であり、そのための環境整備にも心を配っていただきたいと思います。

さらには、子どもは、家庭と地域と園との生活の中で連続性をもって成長していきます。そこで、保護者や地域の意見や要望などを客観的に把握し、情報発信も積極的に行い、共通理解と連携を深めながら共に子育てを進めていくということが重要でございます。

## 菊池学園事業の取組について

いの町は、平成28年度から菊池先生に教育特使を委嘱して、菊池学園事業に取り組み、子どもさんの自尊感情を育み、コミュニケーション能力を高める「豊かな対話を通して学び続ける子どもの姿」を目指しています。



## 幼児教育版、夜の寺子屋

昨年度、幼児教育部会では、夜の寺子屋で「ほめ言葉のシャワー」の実践発表を行いました。どの取組も素晴らしく、心に残るものでした。

大人と子ども、子ども同士の温かな関係性を築くために「ほめて・認めて・励ます」取組が日常的に実践されていることをうれしく思います。ありがとうございます。



### 「一人も見捨てない」と胸を張って言えますか？

7年目が始まる今、あえて、ここにおられる皆さんに問います。

「一人も見捨てない教育の実現に向かっていきますか？」

長所も短所も含めて、ありのままの自分を受け入れ、また他者をも受け入れることができる自尊感情は、子どもさんはもちろん、先生方にも高めていただきたい最重要事項です。

そのためにも、温かい関係性、同僚性、風通しの良さ、菊池学園実践をベースとした、校内研究・園内研究の充実が、求められています。

「一人も見捨てない」を基本に据え、協働して研究を進めてまいりましょう。



### 元気で明るく、働き続けたい職場を目指して

子ども達が  
「学びたい」  
保護者が  
「子どもと一緒に育ちながら、子育てが楽しい」  
地域の方々が  
「子どもを支え学びたい」  
教職員の皆さんが  
「毎日元気で明るく、働き続けたい職場」と思えるよう、心を一つにして、いの町の子どもさん達のために、全力を尽くしていきたいと思います。

そして、本年、まずは身体も心も、健康第一で、教育に携わる皆さんがつながりを深め、子どもさん達に、より多くの学びの火をともし、実り多い一年になることを心から祈念申し上げ、挨拶いたします。

令和4年4月1日校長会挨拶より





## コミュニケーション豊かな教室を!

この町の取組は7年目を迎えました  
が、各学校に温度差があることも事実  
です。そこで本年度は、過去の反省を  
活かし、リセットして取り組みたいです。

### 目指す子ども像をとらえなおす

コミュニケーション豊かな教室をつ  
くっていきましょう。

コミュニケーションは  
「情報や感情のやりとり」です。

教室を見に行くと、情報のやりとりは  
あっても、感情の伝え合いができてい  
ることは少ないです。

「学力」「コミュニケーション力」ど  
ちらも「力」という字がつきますが、ど  
こが違うのでしょうか?学力は数値化  
できますが、コミュニケーション力は  
数値化が難しいです。ですから、コ  
ミュニケーション力があるかないか決  
めるのは、おかしなことかもしれません  
ね。

全国的に、数値化できない力を伸ば  
す方向に向かっています。そのような方  
向性においては、望ましい子どもたち  
の姿をどのように設定するかをはっきり  
させなければいけません。もう一度「  
コミュニケーション」という切り口で、  
目指す子ども像をとらえなおす必要  
があります。

### リーダーとしての覚悟

学校は管理職、教室は担任の先生の  
あり方で8割以上決まります。

リーダーの考え方ととらえ方が重  
要です。年度始めのこの時期に、リ  
ーダーとしての覚悟をしっかり持ち  
たいですね。管理職だけでなく全  
ての先生方に、この町の取組内  
容を確認していただきたいです。



数値化できる



数値化できない



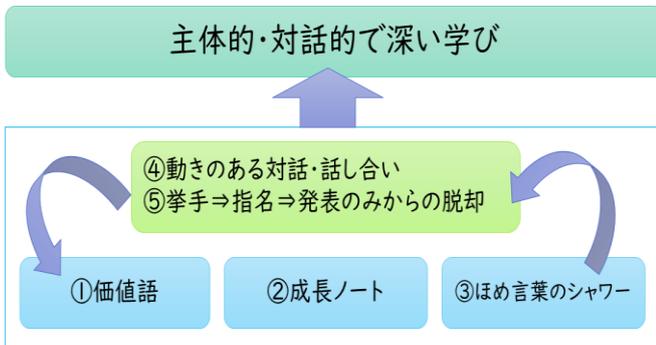
## 「目指す姿」5つの視点



「いの町が目指す教育の姿」というものが示されています。

- ① 価値語
- ② 成長ノート
- ③ ほめ言葉のシャワー
- ④ 動きのある対話・話し合い
- ⑤ 挙手⇒指名⇒発表のみからの脱却

これら5つの視点は並列なのではなく、全て主体的・対話的な授業に向かっているのです。



## 対話には「意見」が必要

対話的な授業をするためには、子どもが意見を持っていなければなりません。例えば「いの町の取組推進に賛成です」というのは「意見」です。それを聞いて「でも色々な子もいるし」「学力も大切だし」というのは「反応」です。自分の立ち位置を決めて、交流するの

が授業における対話です。意見と反応は違うのです。

### 意見



私はいの町の取組推進に賛成です。

### 反応



でも、色々な子がいるし…

学力も大切だし…

## 発問・問いの重要性

では、意見が生まれるような授業とは、こういったものでしょう？それは「発問・問い」が勝負です。自分の立場を決めて、意見を言える状況になる問いとはどのようなものがあるか紹介します。

- ① ディベート  
(賛成か反対か)
- ② 意見が分裂するような問い  
(AかBかC)
- ③ 教師の介入  
(この中で一番大切なのは?)
- ④ 熟議的なテーマがある  
(いの町の課題とは?)
- ⑤ 何かを作ってプレゼンする  
(創作する)

これからは意見を交流させる授業に変わっていかなくてはなりません。最初にベーシックありきではないのです。

## 深い学びへの第一歩は対話から

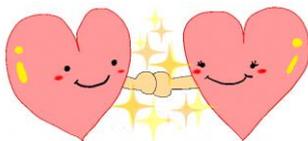
「主体的・対話的で深い学び」と言いますが、まずどこから取り組むべきでしょう。田村学先生は「対話ではないか」と述べています。ある程度対話をこなすと学びの質が高まっていきます。そうしてコミュニケーションが取れるようになってくると、それ自体が主体的な学びになります。そういうやりとりの中で、色々な知識を使って子どもたちは深い学びに到達するのだそうです。つまり、学習指導要領が目指す教育といの町が目指すものは、全くずれていないのです。



## 対話させる時間は？

対話の時間は45分、50分の授業でどのくらい入れたらいいでしょうか？「この発問で〇分対話させよう」と決めて授業をしているケースは少ないと思います。

確かに指導過程の中で何となく「練り合い」を入れていると思いますが、「主体的・対話的で深い学び」のためには対話の時間をどのくらい取ればいいのでしょうか。私は10分くらい取りたいと思います。それくらい取らないと、授業は変わりません。10分間話し合いをさせるために外せない要件は「温かい関係性」です。



© しのぼりっくりハートちゃん

## まずは先生から「ほめ言葉のシャワー」

温かい関係性を築くために、いの町では、ほめ言葉のシャワーを取り入れています。

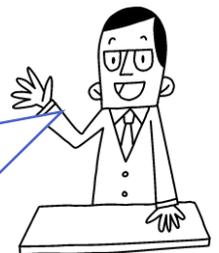
しかし、「どうしてもマンネリ化します」と言われます。例えば6月初旬からほめ言葉のシャワーを始めるとします。まず4月5月は先生が徹底的にほめて、認めて、励まさなければ成功しません。

ほめ方にも色々あると思います。「分かりません」と答える子に、先生方はどうやって返しますか？

例えば「分からない質問をした先生が悪かった、ありがとう」「世の中の科学の進歩は、分からないから始まった。君は将来歴史に名をのこすかもしれないね」等、たくさんあると思います。

分からない質問をした先生が悪かった、ありがとう。

世の中の科学の進歩は「分からない」から始まった。君は名をのこすかも。



そういった温かい接し方を、まず先生が見せていなければ、ほめ言葉のシャワーをしても上手くいきません。



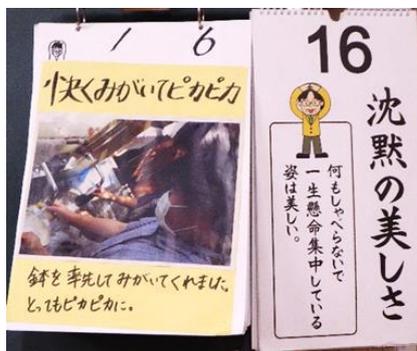
## 言葉で人を育てる「価値語」

大村はま先生は

「言葉が育てば心が育つ、心が育てば人が育つ」

と述べています。

写真をつけて価値語を掲示するのは一つの方法に過ぎません。分かっていたきたいことは、「言葉を育てることは教育の本質だ」ということです。



## 書くことで人を育てる「成長ノート」

東井義雄先生は

「書くことは自分を整理することである。書くことは自分を確立することである」

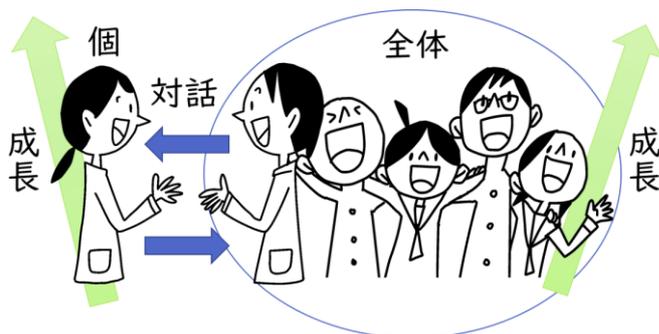
と述べています。

書くことで人を育てるのです。そのため、成長ノートは先生がテーマを与えます。そして、人を育てるために、ほめて、認めて、励ます赤ペンを入れるのです。

タブレットが導入され、子どもたちはますます書かなくなるかもしれません。それは恐ろしいことです。ICTの活用をしながら、創意工夫して書く時間を確保し、先生が「ここだ」というところで書かせてほしいです。それが人を育てるとい教師の覚悟ではないでしょうか。

## 全員で、全力で

「常に個と全体が対話し、それによって全体が成長していく。同時に対話を通じて、個も成長していく。そこにコミュニケーションというものの本質がある。コミュニケーションを通じて創造がなされなければならない」という言葉がありました。



これこそ、いの町が目指すものではないでしょうか。本年度も目指す教育の姿を掲げ、先生方、教育委員会、研究所…つまり全員でその実現に向かっていきましょう。素敵な一年になるのではないかとワクワクしています。いの町の子どもたちのためみんなで協力して、全力で取り組んでいきましょう。

令和4年4月1日 校長会講話より

## 令和4年度 いの町教育研究所運営要綱

いの町教育研究所は、いの町教育研究所設置条例並びにいの町教育研究所の管理運営に関する規則に基づき令和4年度の運営要綱を次のように設定し、教職員の研修・研究活動の推進を図り、町教育の振興と充実に努める。

### 令和4年度 いの町が目指す教育の姿

【共通目標】 「豊かな対話を通して、学び続ける子どもの育成」

本年度の課題 「主体的・対話的で深い学びのある授業の創造」の実現

—— 「教える授業」から「学ぶ授業」への質的転換 ——

いの町は、平成28年度より地方創生事業の一貫として「教育・子育て」を柱に据えて、教育特使として菊池省三先生を迎え、「ほめ言葉のシャワーの町」をめざして子どもたち一人一人の自尊感情を育てる取組を推進している。教育委員会は、今年度もこれらの取組を継続し、いの町の共通目標「豊かな対話を通して、学び続ける子どもの育成」をめざすこととしている。

改定された学習指導要領では、教科横断的に資質・能力を育成することが求められるとともに、「見方・考え方」の育成や「主体的・対話的で深い学び」などの授業の質的転換が求められている。教師には、新たな学びに即した授業づくりの力が必要不可欠である。

教育研究所も教職員が改定された学習指導要領の趣旨にそった活動に積極的に取り組んでいけるように、町が推進する菊池学園の取組とともに、学びの場を提供していきたいと考えている。

また、共通目標をもとに、園内研修、校内研修、教職員研修が、町全体の取組となるように支援する。一方、新型コロナウイルス感染症防止の中で得た新しい生活様式を踏まえながら、これからの学びの在り方について、さらに考えていく必要がある。教職員研修においても新しい生活様式を踏まえながら校内研修の一層の充実と、所外研究部会の支援を積極的に推進していく。

また、高知県教育委員会は、昨年度から取組強化の方向性の一つに「ICTを活用した新しい学習スタイルへの転換」をあげている。いの町教育委員会も、一人1台のタブレット端末等の整備を完了し、各小中学校では、昨年度から授業等での活用がスタートしているが授業でどのように活用するかはまだ手探りの状況にある。そこで、教育研究所としても教職員の研修の機会を設定し、ICTを使った授業技術の向上を図り、個々の教員の自己学習や授業準備等の業務負担の軽減を支援しながら働き方改革の推進へと結び付けたい。

幼児教育では、「ほめ言葉のシャワー」を取り入れながら自尊感情を高め、就学後の「主体的・対話的で深い学び」を達成するための土台となる5つの領域と、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を踏まえた指導を工夫することにより、生きる力の基礎を育てていく。

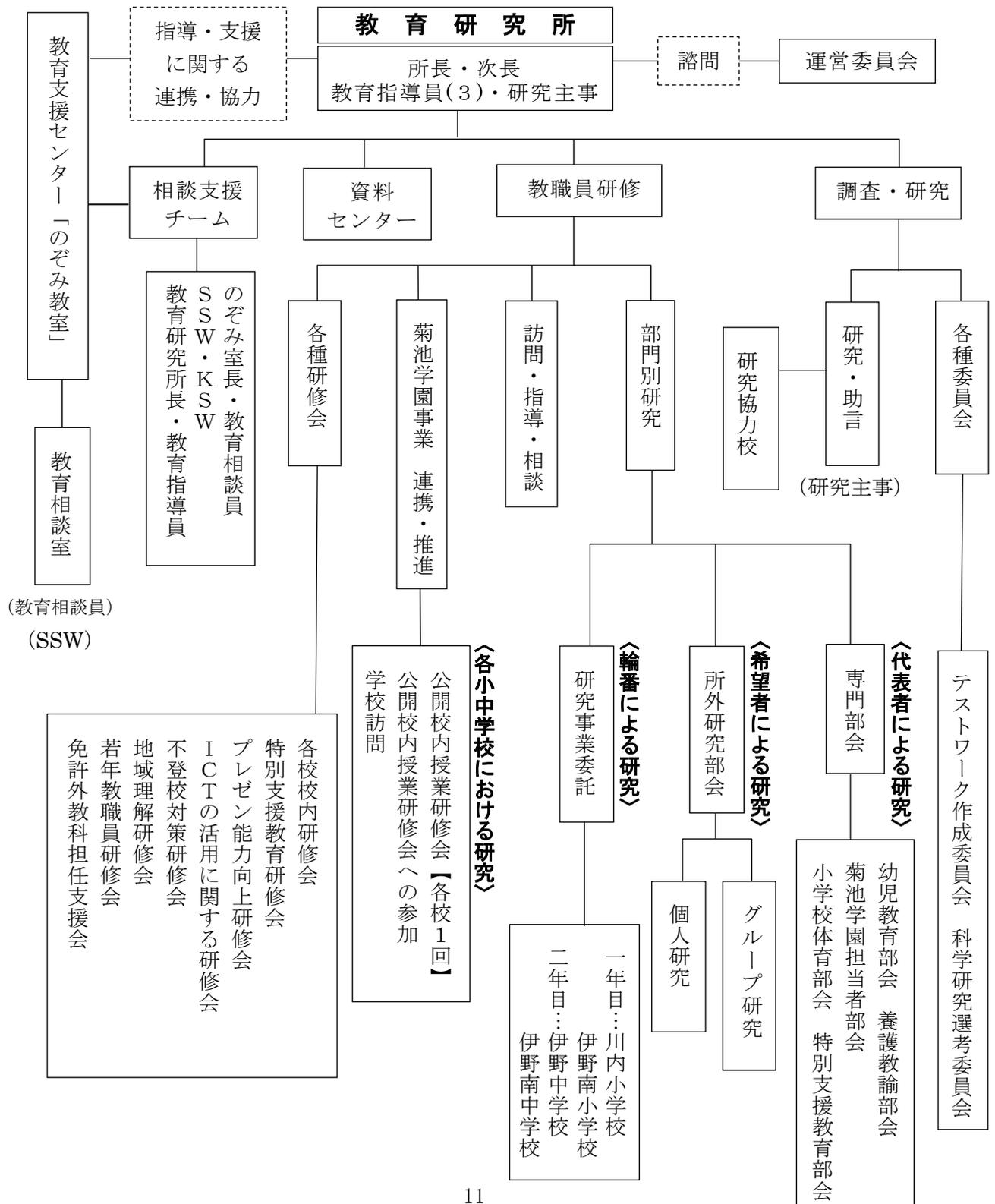
学校教育では、「主体的・対話的で深い学びのある授業の創造」の実現に向けて、「教える授業」から「学ぶ授業」への質的転換のために「動きのある対話・話し合い」「挙手⇒指名⇒発表のみからの脱却」について、各校で具体的な取組や手立てを実践・検証し、本年度の課題に迫っていくこととする。

教育研究所は、このような保幼小中の継続的な取組を支え、教職員に寄り添いながら、計画的・組織的な研修・研究を推進する。教職員相互の練磨に努め、実践的指導力の向上を図ることを目的として、この運営要綱を定める。

【組織】 研究所組織図

- 【業務内容】 ○調査・研究 — 諸調査・諸検査等の集計考察，研究資料の作成配布  
 ○指導・相談 — 教職員・保護者相談  
 ○助言・協力 — 指定・校内研究等指導・助言・協力  
 ○教職員研修 — 専門部会，所外研究部会，研究事業委託の推進，  
 各種研修会および講習会，菊池学園事業との連携・推進  
 ○資料センター — 教育指導上必要な図書，視聴覚教材等の整備

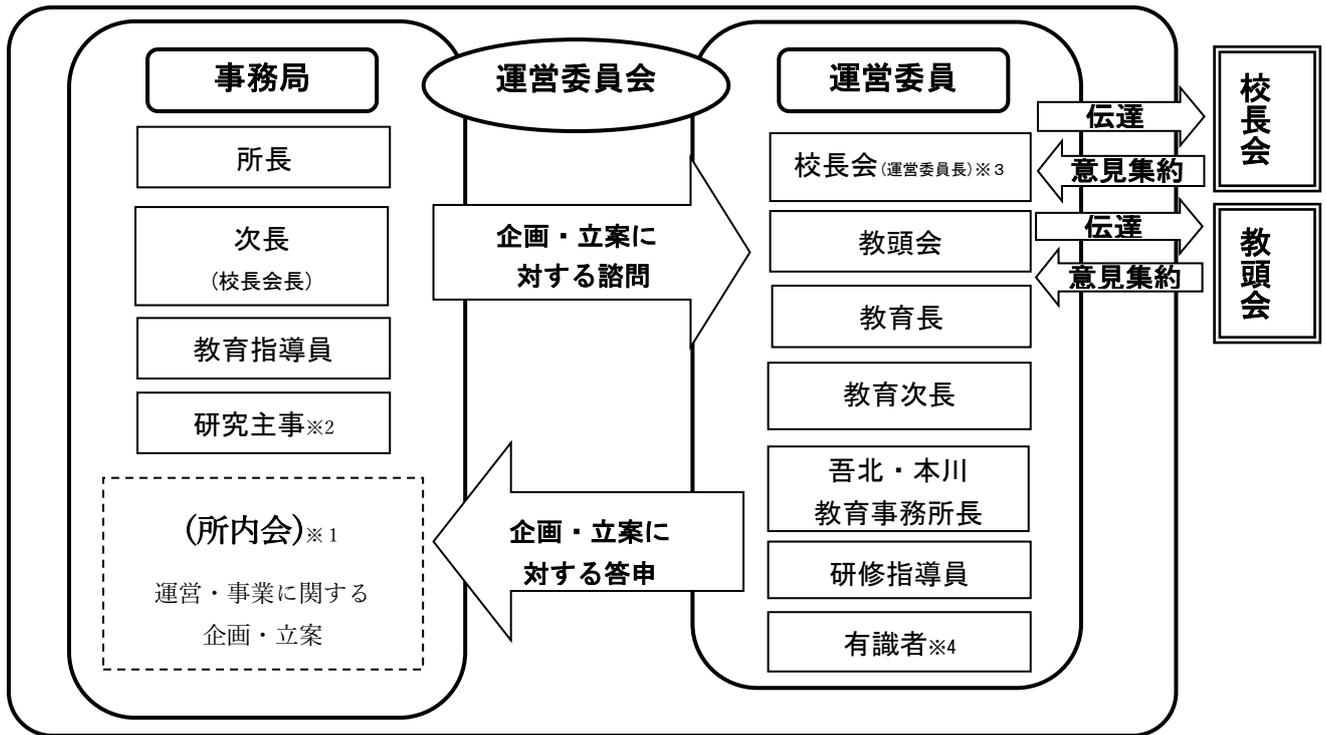
令和4年度 いの町教育研究所組織図



## 教職員研修

部門別研究	専門部会	新たに特別支援教育部会を立ち上げ、5部会の研究を推進するため支援を行うとともに、その結果得られた成果等を発信する。
	所外研究部会	グループ研究部員 <p>教職員としての専門的知識、技能を高め、町内の教育実践向上のための人材育成に資する。</p> <p>本年度は、国語科、社会科、算数・数学科、理科、生活科、音楽科、図画工作・美術科、体育・保健体育科、技術・家庭科、外国語活動・外国語科、道徳科、特別活動、総合的な学習、少人数・複式学級、特別支援教育、生徒指導、教育相談、養護、栄養士、事務、情報教育、幼児教育として各部会3名以上とする。（原則として複数校教職員で構成）</p> <p>原則として講師を招いての学習会の形態をとり、理論や指導法について研究協議や演習を行う。回数は年間5回以上とし、部会は勤務時間外の時間に行うこととする。但し、学校運営上支障のない場合は各学校長の許可を得て勤務時間内に研究を行うことができるものとする。</p> <p>一校一研究と重複しての応募は認めない。</p>
		個人研究員 <p>町内教職員の自発的な教育研究開発の促進を図るため、個人の研究に対して助成を行い、教職員の資質向上と指導方法の工夫・改善、充実を図る。</p> <p>研究は勤務時間外に行うことを原則とする。但し、学校運営上支障のない場合は、学校長の許可を得て勤務時間内に研究を行うことができるものとする。</p>
	研究事業委託	<p>いの町教職員の資質の向上と、学校教育に関する研究を推進するため、支援を行うとともに、その結果得られた成果等を発信言及する。</p> <p><b>※ 2年間の研究事業委託とし、2年目には、発表会を開催する。</b></p>
菊池学園事業	<p>「主体的・対話的で深い学びのある授業の創造」をめざし、学び合うための「動きのある対話・話し合い」「挙手⇒指名⇒発表のみからの脱却」について、各校で具体的な取組や手立てを実践・検証し、「教える授業」から「学ぶ授業」への質的転換をめざした授業の改善を図っていくこととする。各校で、菊池先生を講師に公開授業を行い、研究を推進する。</p> <p><b>※ 校内研等で各校公開授業（年間1回）を行う。</b></p>	
研修会	各種 <p>若年教職員研修とプレゼン能力向上研修会、中学校の免許外教科担任支援会を新たに企画し、従前の校内研修会・特別支援教育研修会・ICTの活用に関する研修会・不登校対策研修会・地域理解研修会等を含めて、教職員の資質の向上を図る。</p>	

## いの町教育研究所 運営体制



- ※1 所内会の開催にあたり、教育委員会との調整が必要な内容を協議する場合には、教育委員会より、研修指導員が参加の上で拡大所内会を開催する。
- ※2 所内会・運営委員会の運営は、研究主事が行う。
- ※3 運営委員長とは、研究所次長が小学校長の場合は中学校長より、中学校長の場合は小学校長より委嘱する。(校長会、教頭会ともに人選は各会に一任する。)
- ※4 教職経験の有無を問わず、必要に応じて若干名を人選し、研究所より委嘱する。

### 令和4年度 いの町教育研究所 運営委員

	氏名	役職	備考
1	土居 直也	校長会 副会長	運営委員長
2	塩田 文範	教頭会 会長	
3	藤岡 孝雄	教育長	
4	宮脇健太郎	教育次長	
5	山中 昭典	吾北・本川教育事務所長	
6	田村 怜子	研修指導員	
7	乾 孝治	副参事 (ふっくりハート育成推進担当)	有識者
8	池 佐智	副参事 (ふっくりハート育成推進担当)	有識者

### 令和4年度 いの町教育研究所 職員

	氏名	役職	専門教科・領域	備考
1	鍋島 智	所長		
2	岡林 康雄	次長		校長会長 兼任
3	西森 栄一	教育指導員	教育相談	
4	森山 晴子	教育指導員	学校教育	
5	坂本 隆志	教育指導員	学校教育	
6	小笠原由衣	研究主事		

## 令和4年度 いの町教育研究所事業について

### 1 専門部会(代表者による研究)

幼児教育部会, 養護教諭部会, 菊池学園担当者部会, 小学校体育部会, 特別支援教育部会の研究を推進するため支援を行うとともに, その結果得られた成果等を発信する。

#### (1) 幼児教育部会

目的 ・子どもの成長発達を見通した環境構成や保育者の援助の在り方について研究を深める。

#### (2) 養護教諭部会

目的 ・心身ともに健全で, 主体的に学習や行動のできる児童生徒の育成について研究を深める。

#### (3) 菊池学園担当者部会(年間3回)

目的 ・各校の菊池学園担当者の指導力向上をめざす。

・菊池学園担当者会で研修したことを各職場で共有し, 実践に生かす。

第1回部会 4月28日(木) 15:30~16:50 伊野公民館3階 生涯学習室

・部長選出・目的・年間スケジュール・集録「いの」原稿, 実践報告の確認

・菊池学園プランをもとに情報共有

第2回部会 8月26日(金) 13:30~16:50 いの町役場1階 いのホール

・5中学校区の実践報告 等

・講評: 菊池省三 教育特使

※若年教職員研修を兼ねる

第3回部会 2月24日(金) 15:30~16:50 いの町役場1階 いのホール

・集録「いの」原稿確認

・菊池学園プランをもとに情報共有

#### (4) 小学校体育部会

目的 ・子どもたちの健康の保持増進, 体力の向上について研究を深める。

#### (5) 特別支援教育部会

目的 ・特別支援学級についての情報共有や交流を通して, 特別支援教育についての理解を深める。

### 2 所外研究部会(希望者による研究)

所外研合同部会 6月2日(木) 15:00~16:50 伊野公民館3階 生涯学習室

#### (1) グループ研究

目的 ・希望者による研究部会を開催し, 町内教職員の研修の場を確保する。

・町内教職員の自発的な教育研究開発の促進を図るため, グループの研究に対して助成を行い, 教職員の資質向上, 指導方法の工夫・改善, 充実を図る。

部会 ・各部会3名以上とする。(原則として複数校の教職員で構成)

・年間5回以上研修し, 研修日は夏季休業中にまとめてとってよい。

#### (2) 個人研究(委託事業・委託料2万円)

目的 ・自発的な教育研究開発の促進を図るため, 個人の研究に対して助成を行い, 教職員の資質向上, 指導方法の工夫・改善, 充実を図る。

助成 ・研究計画をもとに研究員を決定し, 委託契約を行う。

### 3 令和4年度 いの町教育委員会研究事業委託

#### (1) 2年次 (各10万円)

・伊野中学校 6月15日(水) 研究発表会

研究主題「自ら学び,ともにによりよく生きる生徒の育成

～関係性の構築とICTの活用から,

“わかる・できる”を生み出す指導方法の工夫～」

・伊野南中学校 1月27日(金) 研究発表会

研究主題「学びを結びつける力と共生力の育成

～グランドルールの定着を土台とした学級づくりを通して～」

#### (2) 1年次 (各7.5万円)

・川内小学校

研究主題「一人ひとりが主体的・対話的に学びに向かう姿をめざして

～算数科の言語活動を通して～」

・伊野南小学校

研究主題「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

～学びを深める対話のある授業～」

### 4 教職員研修会

#### (1) 各校の校内研修会

① 目的 ・各校が年間1回,菊池先生を講師として公開授業・学校版菊池寺子屋を行い,町全体で菊池学園の取組を推進し,一層の充実を図る。

#### ② 日程

(○は菊池先生訪問日)

学校名	事前研	公開授業	備考
川内小	5月26日(木)	6月7日(火) ○	
伊野中	5月25日(水)	6月15日(水) ○	町指定研究発表会
吾北小	6月21日(火)	7月6日(水) ○	
伊野小	9月6日(火)	9月13日(火) ○	
伊野南小	8月25日(木) ○	9月14日(水) ○	
本川中	10月5日(水)	10月12日(水) ○	
神谷小中	9月30日(金)	10月13日(水) ○	
吾北中	11月11日(金) ○	11月22日(火)	
長沢小	12月14日(水)	1月18日(水) ○	
枝川小	1月11日(水)	1月25日(水) ○	
伊野南中	12月26日(月) ○	1月27日(金) ○	町指定研究発表会

#### (2) 研究事業委託校の研究発表会(伊野中学校・伊野南中学校)

町指定研究発表会に,積極的に参加する。

#### (3) 不登校対策研修会 5月16日(月) 15:00~16:50 いの町役場1階 いのホール

① 目的 先進的な取組を知ることで,各校が組織的に不登校防止対策を推進する一助とする。

② 内容 ・講話「教育支援センターからみた不登校対策について」(40分)

講師 榎本 洋氏(元のだみ教室室長)

・各学校の取組について情報交換(40分)

(4) 教職員研修(特別支援教育研修会) 6月9日(木) 15:00~16:50 伊野南小学校

- ① 目的 ・インクルーシブ教育に視点をのいた授業の在り方について理解を深める。
- ② 講師 椿原正和 氏(教授法創造研究所代表)
- ③ 内容 ・講師による公開授業(伊野南小) 参観  
・講話 「どの子も楽しく学べる国語授業」

(5) 教職員視察バス研修 7月28日(木) 8:40~16:45 (若年教職員研修)

- ① 目的 ・いの町内の歴史や文化に親しむとともに、体験活動を通して、施設やその役割を知る。  
・校種、職種及び世代の枠を超え、参加者が広く交流し、親睦を深める。
- ② 講師 青地 三男 氏(本川神楽)  
平尾里枝美 館長(紙の博物館)
- ③ 内容 ・各施設の見学と講師による説明  
・紙漉き体験 等

(6) 教職員研修(プレゼン能力向上研修) 8月2日(火) 13:30~16:30 いの町役場1階 いのホール

- ① 目的 ・子どもが楽しく学ぶための、教師のパフォーマンス力の向上を図る。
- ② 講師 中内こもる 氏(俳優 作家 詩人)
- ③ 内容 ・講話 「聞き手の心を動かす話し方」  
・演習

(7) 若年教職員研修会 年間5回予定

- ① 目的 町内の新規採用教職員から2年次までの教職員を対象に研修の場を設け、教職員としての資質の向上と、教職員同士の横のつながりを作る機会にする。

② 内容

第1回若年教職員研修 4月5日(火) 15:30~16:45

第2回若年教職員研修 5月24日(火) 16:00~16:45 新任教員事務研修会とセット

第3回若年教職員研修 7月28日(木) 8:40~16:45 教職員視察バス研修とセット

第4回若年教職員研修 8月26日(金) 13:30~16:50 菊池学園担当者部会とセット

第5回若年教職員研修 未定

※ 状況に応じて研究所が勤務校に訪問する場合がある。

(8) 免許外教科担任支援会 希望する中学校のみ 申込締切4月25日(月)

目的 ・免許外で技術の授業を担当する教員を、退職した技術教員が間接的に支援することで、教員の不安や悩みを軽減し、授業の質的向上を図る。

(9) その他 学校の要望により実施する研修会

- ・ICTの活用に関する研修会
- ・授業・学級づくりミニ講座
- ・電話のかけ方講座
- ・お便り作成講座 等

## 5 菊池学園事業との連携・推進

- ・公開校内授業研修会(各校1回)
- ・公開校内授業研修会への参加(年間1回以上参加する)

※参加体制の調査については、別途通知する。

## 6 各種委員会

### (1) いの町科学研究選考委員会

目的 ・各学校から提出された科学作品を選考し、県大会へ出品する。

・作品提出締切 9月 9日(金)

・選考委員会 9月15日(木) 伊野公民館2階 大集会室

・優秀作品展示 11月中旬(伊野地区児童・園児美術展の開催と合わせて、伊野公民館に展示)

### (2) いののくらしテストワーク作成委員会

目的 ・「いののくらし」のテストワークを改訂する。

第1回委員会 5月17日(火) 伊野公民館2階第2会議室

・年間計画・2学期テストワークの分担

第2回委員会 8月 日( )

・2学期テストワークの確認及び3学期の分担

第3回委員会 11月 日( )

・3学期テストワークの確認及び1学期の分担

第4回委員会 1月 日( )

・1学期テストワークの確認, 年間の反省等

※2回目以降の委員会の日程については, 第1回委員会で決定する。

## 7 研究所運営委員会

目的 研究所事業の企画・立案に対して答申する。

第1回運営委員会 4月26日(火) 15:30~16:50 伊野公民館3階 生涯学習室

第2回運営委員会 11月24日(木) 15:30~16:50 伊野公民館3階 生涯学習室

## 令和4年度 各園・各校研究主題及び研究主任名

幼稚園	伊野幼稚園	【国公幼研究テーマ】 幼児期の教育において育みたい資質・能力につながる環境構成と保育者の援助について ～知識・技能の基礎に着目して～
	橋本 鈴子	【町研研究テーマ】子どもが自分らしさを発揮して主体的に遊べる，育ちあえる保育環境 ～子どもの実態・発達段階に沿った保育環境の構成と保育者の援助～

認定 こども 園	えだがわ	「子どもが自分らしさを発揮して主体的に遊べる，育ちあえる保育環境 子どもの実態・発達段階に沿った保育者の援助～」
	田村 真紀	「幼児期の教育において育みたい資質・能力につながる環境構成と保育者の 援助について(知識・技能の基礎に着目して)」
園	ごほく	子どもが自分らしさを発揮して主体的に遊べる，育ちあえる保育環境 ～子どもの実態・発達段階に沿った保育者の援助～
	長崎 有紀	

保 育 園	天神保育園	子どもが自分らしさを発揮して主体的に遊べる，育ちあえる保育環境 ～子どもの実態・発達段階に沿った保育者の援助～
	柳瀬 沙織	
	川内保育園	子どもが自分らしさを発揮して主体的に遊べる，育ちあえる保育環境 ～子どもの実態・発達段階に沿った保育環境の構成と保育者の援助～
	原 恵美	
	八田保育園	子どもが自分らしさを発揮して主体的に遊べる，育ちあえる保育環境 ～子どもの実態・発達段階に沿った保育者の援助～
	端山 菜優	
	神谷保育園	子どもが自分らしさを発揮して主体的に遊べる，育ちあえる保育環境 ～子どもの実態・発達段階に沿った保育者の援助～
	高野 梨香	
本川へき地保育園	子どもが自分らしさを発揮して主体的に遊べる，育ちあえる保育環境 ～子どもの実態・発達段階に沿った保育環境の構成と保育者の援助～	
小泉 清人		
伊野保育園	子ども一人一人がのびのび（じっくり）と遊べる保育環境と保育者の援助	
川村 由香利		
あいの保育園	子どもが自分らしさを発揮して主体的に遊べる，育ちあえる保育環境 ～子どもの実態・発達段階に沿った保育環境の構成と保育者の援助～	
竹中 知佐		

令和4年度 各園・各校研究主題及び研究主任名

小学校	枝川小 濱田 志乃	生き生きと学び，表現する子どもを育てる 思考を深める国語科の授業 ～対話と振り返りを通して～
	伊野小 吉良 優祐	自己と向き合い，仲間と高め合う授業の創造 ～教科の本質を追求した，主体的・対話的で深い学びの実現～
	伊野南小 池尻 早紀	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ～学びを深める対話のある授業～
	川内小 宮脇 佐和子	一人ひとりが主体的・対話的に学びに向かう姿をめざして ～算数科の言語活動を通して～
	吾北小 田中 美智	自ら考え 伝え合い 学び合う 子どもの育成 ～対話を通じた深い学びを目指して～
	長沢小 仁井田 由佳理	自ら考え，深い学びに向かう児童の育成 ～少人数・複式で対話のある授業～

小 中 一 貫 校	神谷小中 国沢 亜矢 (小) 和田 浩子 (中)	「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくり ～子どもたちが関わりあい，高めあい，深めあう授業づくり～
-----------------------	--------------------------------	---

中 学 校	伊野中 藤本 駿	自ら学び，ともによりよく生きる生徒の育成 ～関係性の構築とICTの活用から， “わかる・できる”を生み出す指導法の工夫～
	伊野南中 國廣 ゆか	学びを結びつける力と共生力の育成 ～グランドルールの定着を土台とした学級づくりを通して～
	吾北中 福澤 義治	生徒の「学び」が保障された授業を推進する ～生徒が主体的に学び合う協働的な授業の確立～
	本川中 森田 美香	伝え合い，信頼し合い，学び合う集団作りと授業改善の推進 ～関わり合いながら主体的に学びに向かう生徒の育成～

## いの町内 園・学校内研修日程一覧表

各園、学校からいただいた研修予定表の中から、授業研究等を記載しました。一昨年度からの町研部会廃止に伴い、本年度も先生方の研修の場として、下記一覧表にある園や学校の公開保育・公開授業をご活用ください。

参加したい研修がありましたら、直接園や学校まで問い合わせいただくか、教育研究所までご連絡ください。

色をつけている研修は菊池学園公開授業ですので、小中学校の先生方は一回以上参観して下さい。

令和4年5月9日

教育研究所集計

月	日	曜日	園・学校	研修内容	講師	
4	4	月	伊野南小	児童理解・学級経営研修①	坂井聡氏	
	5	火	吾北中	校内アレルギー研修（エピペン）	仁淀消防	
	13	水	枝川小	InterCLASS活用に関する研修	いの町教委ICT担当	
	20	水	伊野南小	児童理解・学級経営研修②	坂井聡氏	
	25	月	伊野南中学校区	保小中教職員交流会①	是永かな子氏	
	26	火	吾北中	園小中連携事業事務局会		
	27	水	伊野中	校内研修②「生徒理解のための研修（LGBTQ①）」		
	27	水	枝川小	アレルギーとアナフィラキシー対応についての研修	仁淀消防署	
	28	木	吾北中	特別支援教育研修会	是永かな子氏	
	28	木	認園ごほく	園小中連携、代表者会	教頭・園長	
5	18	水	吾北小	校内研（ICT オンデマンド研修）		
	18	水	伊野南中	校内研修（授業改善に活かす振り返りについて）	オンデマンド	
	19	木	認園ごほく	園小中連携会	校長・教頭・園長	
	20	金	伊野保育園	5歳児園内研修		
	25	水	伊野中	菊池学園事業② 事前検討会		
	25	水	伊野南小	特別支援学級授業研究会	松本秀彦氏	
	25	水	認園ごほく	～27日 5歳児園内研修	日向國雄氏	
	25	水	伊野保育園	3歳児園内研修		
	26	木	川内小	菊池学園研修会公開授業算数科事前研修①		
	27	金	伊野南小	授業づくり講座（国語科）教材研究会①（3年）	大塚健太郎氏	
				吾北中	グループ内授業公開及び参観（詳細未定）	
				伊野中	ICTミニ研修①	
				天神保育園	5歳児園内研修 三宮 亜由美	県幼保支援課アドバイザー
			八田保育園	4歳児園内研修 端山 菜優	県幼保支援課アドバイザー	
6	1	水	吾北中学校区	第1回 園小中連携事業（中学校授業公開日）		
	1	水	神谷小中	授業研（3, 4年）	附属小学校より（予定）	

月	日	曜日	園・学校	研修内容	講師	
6	1	水	伊野南中	校内研修（模擬授業）		
	3	金	伊野保育園	0歳児園内研修		
	6	月	認園ごほく	～8日 0歳児園内研修	日向國雄氏	
	7	火	川内小	菊池学園公開授業 算数科	菊池省三氏	
	8	水	伊野中	校内研修④	研究主任	
	8	水	伊野小	授業づくり講座【算数科】教材研究会	中部教育事務所指導主事	
	8	水	枝川小	ICTを活用した授業実践に関する研修	中部教育事務所	
	8	水	伊野南中	校内研修（ICT活用研修）	中部教育事務所	
	8	水	本川へき地保育園	1・2歳児園内研修 山崎沙織	日向國雄氏	
	9	木	吾北中	特別支援教育研修会	是永かな子氏	
	9	木	吾北中	全校授業研①		
	9	木	伊野南小	特別支援教育研修会	椿原正和氏	
	9	木	認園ごほく	小1公開授業・情報交換	校長・教頭・園長	
	10	金	神谷保育園	4・5歳児園内研修 三浦那菜	県幼保支援課アドバイザー	
	14	火	伊野南中	第1回全校授業研修	菊池省三氏	
	14	火	本川へき地保育園	3・4・5歳児事例研修 谷脇綾夏		
	15	水	神谷小中	ICT活用について	未定	
	15	水	吾北小	授業研①（3・4年 算数）		
	15	水	伊野中	全校研①（菊池学園育成推進事業，ICT）	菊池学園担当	
	15	水	伊野中	町指定研究発表会（菊池学園公開授業）	菊池省三氏	
	15	水	枝川小	全校授業研（国語科）		
	15	水	伊野保育園	4歳児園内研修		
	16	木	伊野南中	生徒理解研修①	是永かな子氏	
	21	火	吾北小	菊池学園事前研		
	22	水	川内小	算数科事前研②		
	22	水	認園えだがわ	2歳児ミドル2年次研修での公開保育 峰本 春佳		
	22	水	認園えだがわ	5歳児ミドル2年次研修での公開保育 吉本 真理奈		
	24	金	伊野南小	授業づくり講座（国語科）授業研究会①（3年）	中部教育事務所指導主事	
	24	金	伊野保育園	2歳児園内研修		
	28	火	神谷保育園	2歳児園内研修 西村優香	県幼保支援課アドバイザー	
	29	水	神谷小中	授業研（1，2年）	附属小学校より（予定）	
	29	水	伊野中	校内研修⑤		
	29	水	伊野小	授業づくり講座【算数科】授業研究会	中部教育事務所指導主事	
	30	木	本川へき地保育園	3・4・5歳児園内研修 谷脇綾夏・小泉清人	日向國雄氏	
	7or8			伊野幼稚園	廣内璃緒 3歳児公開保育園内研修	県幼保支援アドバイザー
				長沢小	学校支援訪問（3，4年複式）	中部教育事務所
			伊野中	ICTミニ研修②		

月	日	曜日	園・学校	研修内容	講師
6			天神保育園	支援児園内研修 山崎 香・西山 知希・橋本 理央	日向國雄氏
			天神保育園	0歳児園内研修 藤原未来・土居比佐子・森沢莉奈	日向國雄氏
			天神保育園	2歳児園内研修 光内 里奈・吉良 彩香・阿部 裕子	県幼保支援課アドバイザー
			川内保育園	支援児園内研修 山本亜小美・岡林都	日向國雄氏
			八田保育園	1・2歳児園内研修 吉田 葵	県幼保支援課アドバイザー
			あいの保育園	保育者基礎研修Ⅱ期事例研修6月～7月13日(3歳児)	県幼保支援課より派遣
			あいの保育園	保育者基礎研修Ⅱ期公開保育6月～11月4日(3歳児)	県幼保支援課より派遣
7	4	月	認園えだがわ	4歳児 事例研修 岡林 佳菜	
	5	火	認園えだがわ	1歳児 事例研修 土居 恵利	
	6	水	神谷小中	授業研(5,6年)	附属小学校より(予定)
	6	水	吾北小	菊池学園公開授業(ひまわり2)	菊池省三氏
	6	水	川内小	算数科全校授業研②(中部支援訪問)	中部教育事務所主事予定
	15	金	枝川小	児童理解に関する研修	是永かな子氏
	15	金	枝川小	体育科ゲーム領域に関する研修・不審者対応訓練	体育部・土佐警察署
	22	金	吾北小	校内研(MIM研修①)	久武夕希子氏(ともはうす)
	26	火	長沢小	小中合同研修	スクールカウンセラー
	27	水	本川中学校区	保小中合同研修	松本秀彦氏
	27	水	伊野中	校内研修⑥	
	28	木	認園えだがわ	1歳児 園内研修 野口 夢華	県幼保支援課アドバイザー
	13or14		伊野幼稚園	野村航大 4,5歳児公開保育園内研修	県幼保支援アドバイザー
			神谷小中	保育園実習研修	神谷保育園長
			天神保育園	1歳児園内研修 中川 利奈・塩田 佳代	日向國雄氏
			川内保育園	3・4歳児園内研修 大崎絵梨華	県幼保支援課アドバイザー
		八田保育園	3歳児園内研修 山崎 妃斗美	日向國雄氏	
		神谷保育園	保小中連携園内研修	日向國雄氏	
8	1	月	認園ごほく	園小中連携(授業公開及び三部会)	園長
	2	火	吾北中	特別支援教育研修会	是永かな子氏
	2	火	あいの保育園	第2回伊野南保小中教職員交流会(あいの保育園)	是永かな子氏
	3	水	吾北中学校区	第2回 園小中連携事業(公開保育)	
	3	水	伊野南中	保小中教職員交流会②	
	3	水	伊野南小	第2回伊野南保小中教職員交流会	是永かな子氏
	24	水	認園えだがわ	1歳児 園内研修 土居 恵利	県研修指導員
	25	木	伊野中	ICT外部講師研修	
	25	木	伊野中	ICTミニ研修③	
	25	木	枝川小	アクションカードを用いた緊急対応に関する研修	
	25	木	伊野南小	菊池学園事業教材研究会(5年)	菊池省三氏
	25	木	伊野南小	図書館大会教材研究会①(1年)	中部教育事務所指導主事

月	日	曜日	園・学校	研修内容	講師
8	26	金	伊野中	生徒理解のための研修 (LGBTQ②)	
	26	金	伊野南小	図書館大会教材研究会② (4年)	中部教育事務所指導主事
	29	月	伊野南小	授業づくり講座 (国語科) 教材研究会② (2年)	中部教育事務所指導主事
	29	月	伊野南小	図書館大会教材研究会③ (6年)	中部教育事務所指導主事
			あいの保育園	保育者基礎研修 I 期公開保育8月～12月2日の間 (1歳児)	県幼保支援課より派遣
			あいの保育園	保育者基礎研修 I 期公開保育II8月～12月2日の間 (1歳児)	県幼保支援課より派遣
9	6	火	伊野小	菊池学園育成推進事業 事前研究会	
	7	水	吾北小	授業研③ (ひまわり1)	
	7	水	川内小	算数科事前研③	
	7	水	伊野南中	第2回全校授業研修	
	13	火	伊野小	菊池学園公開授業	菊池省三氏
	14	水	伊野南小	菊池学園公開授業 (5年)	菊池省三氏
	16	金	認園えだがわ	4歳児 園内研修 岡林 佳奈	県幼保支援課アドバイザー
	20	火	伊野南小	授業づくり講座 (国語科) 授業研究会② (2年)	中部教育事務所指導主事
	21	水	伊野小	授業づくり講座【算数科】教材研究会	中部教育事務所指導主事
	21	水	枝川小	学習困難に関する理解と支援に関する研修	
	22	木	川内小	算数科全校授業研③ (中部支援訪問)	中部教育事務所主事予定
	28	水	長沢小	道徳授業研	
	30	金	神谷小中	菊池学園育成推進事業事前研	
	30	金	伊野中	生徒理解のための研修 (特別支援①)	
			吾北中	I C T 研修 (詳細未定)	
			天神保育園	1歳児園内研修 中島 美和・森田 佳誉	日向國雄氏
		天神保育園	0歳児園内研修 森沢莉奈・藤原未来・土居比佐子	県幼保支援課アドバイザー	
		川内保育園	1・2歳児園内研修 原恵美・見元瑞希	日向國雄氏	
		八田保育園	支援児園内研修 池本 雛乃	県幼保支援課アドバイザー	
10	5	水	吾北中	全校授業研②	
	5	水	神谷保育園	3歳児園内研修 高野梨香	県幼保支援課アドバイザー
	12	水	吾北小	授業研④ (5・6年 国語)	
	12	水	本川中	菊池学園公開授業	菊池省三氏
	12	水	川内小	算数科事前研④	
	12	水	伊野南中	校内研修 (模擬授業)	
	13	木	神谷小中	菊池学園公開授業	菊池省三氏
	13	木	認園えだがわ	0歳児園内研修 高田 美紀	県幼保支援課アドバイザー
	18	火	伊野小	授業づくり講座【算数科】授業研究会	文部科学省笠井健一教科調査官
	19	水	吾北中	校長研修会にて全校道徳	
	19	水	枝川小	全校授業研 (国語科)	
	21	金	認園えだがわ	3歳児園内研修 大久保 和子	県幼保支援課アドバイザー

月	日	曜日	園・学校	研修内容	講師
10	26	水	吾北小	授業研⑤（1・2年 国語）	
	26	水	長沢小	道徳授業研	
	26	水	伊野中	全校研②（菊池学園育成推進事業，ICT）	菊池省三氏
	26	水	伊野中	菊池学園育成推進事業④	菊池省三氏
	26	水	川内小	算数科全校授業研④	附属小学校教員
	26	水	認園ごほく	27日 3・4歳児園内研修	幼保支援課
	28	金	伊野南中	高知県図書館活用研究発表会	
	28	金	伊野南小	高知県学校図書館教育研究大会吾川大会（1・4・6年）	中部教育事務所指導主事
			長沢小	学校支援訪問（6年）	中部教育事務所
			天神保育園	4歳児園内研修 岡林 宏幸	県幼保支援課アドバイザー
			川内保育園	5歳児園内研修 森本夏希	県幼保支援課アドバイザー
			神谷保育園	ブロック研修 公開保育・研究協議	県幼保支援課アドバイザー
11	2	水	川内小	算数科事前研⑤	
	2	水	伊野南中	校内研修（模擬授業）	
	2	水	認園えだがわ	5歳児園内研修 田村 真紀	県幼保支援課アドバイザー
	8	火	認園ごほく	～10日 1・2歳児園内研修	幼保支援課
	9	水	吾北中	特別支援教育研修会	是永かな子氏
	9	水	伊野南中	第3回全校授業研修	
	10	木	認園えだがわ	1歳児園内研修 野口 夢佳	日向國雄氏
	10	木	認園ごほく	園小中連携会	教頭・園長
	11	金	吾北中	菊池学園公開授業事前研	菊池省三氏
	16	水	長沢小	道徳授業研	
	16	水	伊野中	ICTミニ研修④	
	22	火	吾北中	菊池学園公開授業	
	24	木	川内小	算数科全校授業研⑤	附属小学校教員
	30	水	伊野南小	自閉症・情緒学級自立活動授業公開	松本秀彦氏
			天神保育園	3歳児園内研修 森澤 亜実	県幼保支援課アドバイザー
		八田保育園	支援児園内研修 池本 雛乃	県幼保支援課アドバイザー	
12	14	水	神谷保育園	0・1歳児園内研修 片岡美幸 細川梨香	日向國雄氏
	19	月	枝川小	児童理解に関する研修	是永かな子氏
	26	月	伊野南中	校内研修（公開授業事前研修）	菊池省三氏
			長沢小	学校支援訪問（特別支援教育訪問）	中部教育事務所
			伊野中	ICTミニ研修⑤	
1	12	木	伊野南中	校内研修（模擬授業）	
	13	金	吾北中	特別支援教育研修会・全校授業研③	是永かな子氏
	18	水	長沢小	菊池学園公開授業	菊池省三氏
	25	水	枝川小	菊池学園公開授業（国語科・作文授業）	菊池省三氏

月	日	曜日	園・学校	研修内容	講師
1	26	木	伊野中	ICTミニ研修⑥	
	26	木	伊野中	全校研③（菊池学園育成推進事業，ICT）	菊池省三氏
	27	金	伊野南中	町指定研究発表会（菊池学園公開授業）	菊池省三氏
	30	月	伊野南中	生徒理解研修②	是永かな子氏
			伊野中	ICT外部講師研修	
2	6	月	認園ごほく	園小中連絡会・代表者会	校長・教頭・園長
	8	水	吾北小	校内研（MIM研修②）	久武夕希子氏（ともはうす）
	8	水	伊野中	菊池学園育成推進事業⑤	菊池省三氏
	8	水	伊野中	生徒理解のための研修（特別支援②）	校内支援部会
	8	水	伊野南中	校内研修	
	10	金	伊野保育園	1歳児園内研修	
	15	水	吾北中学校区	第3回 園小中連携事業（小学校授業公開）	
	22	水	伊野南中学校区	第3回伊野南保小中教職員交流会	是永かな子氏
秋			あいの保育園	第3回伊野南保小中教職員交流会（南小）	是永かな子氏
			認園えだがわ	4歳支援児 園内研修 猪野渉	日向國雄氏
未定			伊野中学校区	伊野中学校区保幼認小中連携事業研修日	未定
			本川中	生徒支援の充実を図る研修会（1）	松本秀彦氏
			本川中	生徒支援の充実を図る研修会（2）	松本秀彦氏
			本川中	社会授業改善プラン	中部教育事務所指導主事
			本川中	英語授業改善プラン	中部教育事務所指導主事
			本川中	国語授業改善プラン	中部教育事務所指導主事
			本川中	理科授業改善プラン	中部教育事務所指導主事
		本川中	数学授業改善プラン	中部教育事務所指導主事	

# 令和4年度 教育相談についてのお知らせ

## 1. 教育相談対象の子ども

### <保育園・幼稚園>

- 就学予定者で、特別支援学級を希望する者。または、特別支援学校を希望する者。
- 就学前で特別な支援が必要な者。

### <小学校・中学校>

- 小中学校において、新年度新たに特別支援学級に入級を希望する者。
- 小中学校において、特別支援学級に在籍している児童生徒で、他の特別支援学級へ入級を希望する者及び特別支援学校へ転学を希望する者。
- 小学校において、特別支援学級に在籍している6年生（※ただし、知的障害特別支援学級に在籍している者は除く）で、卒業後同一町内への中学校に就学する者。  
※知的障害特別支援学級は、「特別支援学級編制計画書第2号様式の4」を省略することができるため。
- 小中学校において、年度途中で特別支援学級に入級を希望する者。但し、年度途中での入級に関しては、下記の2つの条件を満たしていること。
  - ① その学校に対象の特別支援学級が年度当初から設置されていること。
  - ② 突発的な場合（特別支援学級に在籍していた者が転校してきた時、病気で障害が生じた時）。

## 2. 教育相談の申し込み

<提出書類> 「教育相談申込票」

<提出期日> できるだけ早く（8月末まで）

※10月20日（木）に実施予定の、第2回いの町障害者教育支援委員会には、所見書（教育相談の結果）が必要ですので、できるだけ早く教育相談を受けてください。

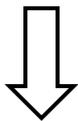
第1回いの町障害者教育支援委員会…6月28日（火）に実施予定

<連絡先>

いの町教育委員会事務局 教育指導員 西森 栄一 TEL 893-1922
---

## 教育相談の流れ

【教育相談担当】教育相談申込票を各園・学校に配布 4月初旬



【各園・学校】教育相談申込票を保護者に記入してもらい、教育委員会教育相談担当に提出する。

【教育相談担当】教育相談申請書を作成し、教育相談申込票を添え相談依頼先(特別支援学校)に提出。



【教育相談担当】特別支援学校と日程調整

教育相談の実施

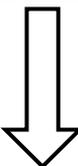
(基本的に教育相談を受ける園及び学校に特別支援学校の職員が出向き実施する)



【教育相談担当】教育相談が終了次第、相談依頼先(特別支援学校)に所見書の送付を依頼。



【教育相談担当】所見書が特別支援学校より送られて来たら各園・学校に連絡し、開示日の調整を依頼する



【園・学校】開示日の調整  
(保護者の都合を聞き、開示の日時を決める)

**開 示**

- ① 申請書(開示請求書)の作成  
保護者：免許証等(本人確認できるもの)を持参
- ② 保護者に開示をする。園・学校(担任等)が同席する場合は、保護者の同意を得る。

※ 開示後、必要に応じて、次年度の就学(特別支援学級への入級等)について、保護者と話し合う。

**教育相談は8月末までに！**

教育相談は、混んでくると教育相談の実施が1か月先ぐらいになります。  
早めの申し込みをお願いします。



## いの町 町章

重なる輪は、ひらがなの「いの」を図案化したもので、調和を保つ意味を表現しています。1956（昭和 31）年に旧伊野町で制定され、2004（平成 16）年の町村合併後も「いの町」の町章となりました。

## いの町歌

作詞 清水 教堯（補作詞 平井丈一郎）  
作曲 平井丈一郎

一

緑あふれる 自然の郷に  
日差しあかるく 降り注ぐ  
水も清らに 仁淀川  
めぐみを与え ゆったりと  
明日に向かって 流れ行く  
いの町 いの町 夢の町

二

青い流れが コウゾを育て  
紙の文化を 生みいずる  
大国さまの ふところ  
未来の理想 はてしなく  
光り輝き 明日を呼ぶ  
いの町 いの町 若い町

三

永遠にうるわし 程野の滝よ  
風もさわやか 瓶ヶ森  
心豊かな 人の輪に  
集うはわれら 青春の  
燃える情熱 いつまでも  
いの町 いの町 希望の町



ぷっくりハート 作詞・作曲フラチナリズム

★ぷっくりハート さあ前向いて いっぱ 踏み出して きっと 大丈夫  
ぷっくりハート そうスマイル ラッキー 見つけた ハッピー 伝えたいね  
♡ パパパパ ピピピピ パパパパ パパパパ ピピピピ ぷっくりハート  
パパパパ ピピピピ パパパパ パパパパ ピピピピ ぷっくりハート

一緒に遊ぼって 誘ってくれたあの日 メチャメチャ笑ったね  
たまにケンカもするけど すぐ仲直り 明日も遊ぼうね  
そんな僕らを いつも見守ってくれる 優しい じいちゃん ばあちゃん  
しわの数ほど物知り 何でも知っている 図書館みたいだね

たまに怒って プンプン 一緒に笑って ワッハッハ  
素直な君が 大好きさ  
つまずいたよ おととと なんとかなるって まっいっか  
ありのままの 君がいいね

ぷっくりハート そうネバーエンディング ハッピー止まらない サンキューベリベリマッチ  
ぷっくりハート アラ不思議 きっと安心さ ずっと一緒にいてね

好きなこと やりたいこと 夢中になれること 君らしさ見つけてね  
さあ自信もって 胸張って行こうか きっと大丈夫さ

たくさんもらった 愛愛愛 一緒に作ったわいわいわい  
いつまでも忘れないように  
言葉なんか ないないない たくさん返すよ 愛愛愛  
ありがとうって伝えよう

ぷっくりハート わあ！元気いっぱい パワー くれるよ ほめ言葉のシャワー  
ぷっくりハート ホットあったかい ぎゅっとハグして 笑顔 あふれてる



こちらのQRコードから、ぷっくりハート体操の振り付け動画にアクセスできます。ぜひご覧ください。



Instagramいの町の公式アカウントはこちら！教育関係の記事もアップされますのでフォローをお願いします。



表紙の写真：新郷土館を訪れるぷっくりハートちゃん

## <いの町教育研究所>

〒781-2110

高知県吾川郡いの町1700-1

電話：893-1922（いの町教育委員会内）

893-0255（資料センター「伊野公民館1階」）

FAX：893-2121（いの町教育委員会内）

LGメール（研究所）：[ino-1@town.ino.lg.jp](mailto:ino-1@town.ino.lg.jp)